

○感想

・具体的に言葉で問題を口に出し、グループの中で話し合うことによって、どうやったらいいか自分なりに理解でき、参加して良かったと思いました。

・困ったことがあったら「逆に親に質問する」ということが参考になった。

・保護者との係わり。。。以前は、ためらうことなく自然に（根拠のない）自信と共に会話をしていたような気がします。しかし、年齢を重ね少なからずも多少経験を積み重ねるうちに、保護者の表出されない感情や背景を思えば思うほど、関わりがごちこちなく考え過ぎてしまって本音を伺うことも困難となっているのが正直な気持ちです。

本日のお話を伺い、人は1人では生きては行けない。

保護者に、こちらから相談させていただく気持ちで。

・小学生、中学生、高校生と歳が違う分、見方も考え方も全然違って、他のスタッフさんの話、意見は参考になりました。

・保護者との年齢の差で、関わり方ですごく悩んでいたけれど、話を聞いて、1人の人間と人間の関わりをこれから作って行きたいな... と思いました。

・自分が子どもや親とどう関わるか、改めて考えさせられました。

・スタッフそれぞれの意見等を聞き、今後の父兄の対応へのヒントに出来ればと思った。

・対応に迷った時は、いろいろな人からヒントをもらい繋いでいくように心掛けたい。

・保護者との関わりで大切なのは、小さなことでも話をする、コミュニケーションをとることだと思いました。

・どこの事業所でも親に対して、どう伝えていいか、どこまで伝えていいのかという同じ悩みを持っているんだと分かった。また、親が事業所によってタイプが違っている。「もっとうちの子は出来るからやらせてほしい⇔うちの子は疲れるから同じような活動で」というように、その事業所では困っていないことでも、別の事業所では困っているようだった。それぞれの意見が聞けて良かった。

・他の事業所の話を聞くことで、参考になることもあり、同じようなことで難しいと感じていることもあった。

・1人ひとり、みんな違うので、それぞれに合った話し方関わりをして行くこと。すぐには、答えを出せないこともあるので、時間をかけて見つけていきたいと思う。

・他の事業所の意見も聞けて良かった。

・母の思い、考えをよく聞くことが大切だと分かった。

・お母さんからヒントをもらえる聞き方、伝え方をすることも参考になった。

・送迎の時に、その日の様子等を全て言えない時は、メールや連絡帳、電話等をして伝える事が必要だと改めて感じました。

・質問して、子どものことを親に聞いてみると良い係わりをもてるようにしたいと思いません。

・他の事業所の方の意見、事業所の状況が聞けて良かった。また、講評・講話の内容でも

## 第2回つばめっこ研修の感想と要望（平成24年9月4日）

私が言っていたことの確認も含めて、今後に活かせるよう心がけていきたいと思う。

・自分が悩んでいることは、自分だけではないんだと思いました。同じ悩みをもった方からアドバイスをもらうことで次に活かすヒントが見えた気がします。また、親と関わるということは、子どものことを伝えるだけではなく、コミュニケーションをとる大切な時間だと確認できました。

・他事業所さんの事例や意見も聞いて情報の共有もでき、学ぶことが多かったです。

・みなさんと意見交換して、親御さんへのマイナス部分の伝え方とかも、とても参考になりました。特に、お母さんに「こんな時は、お家でお母さんはどうしてるんですか？」と質問する方法は、これから試してみたいと思います。

・他のつばめっこの方々との交流及び各事業所の現状を知ることができてよかった。

・阿部さんの「質問上手はコミュニケーション上手」との言葉が印象に残りました。

・方法論よりも人との関わり方をまず、鍛えなければと思いました。

### ○要望

・他事業所さんの活動の仕方、内容を聞いたり、交換したり、意見をいただきたいです。

・それぞれの方の意見を聞けること、意見交換ができることは良いかなあと思うので、他の事業所の方との交流にもなるので、グループワークは続けても良いと思う。

・子ども同士の関わりでどう仲立ちをしたらよいか。（具体例など）

・思春期に伴う性教育について。

・性教育について。

・話し合う情報交換の時間がもう少しあると良かった。

・様々な障がいの特性の勉強会。

・一番は、子どもとの関わりが大切だと思います。子どもが楽しく過ごして家に帰れば、親との関係も良くなると思います。子どもが楽しく過ごせるような活動にするには、等の子どもに関する研修の方が良いかと思っています。